

ESD を推進し持続可能な社会づくりの担い手を育む

受講生募集！

幼児期からの環境教育

森のムツレ教室 &

クニユータナ教室



リーダー養成講座



福津



2022年5月28(土)・29(日)・6月25日(土)



森のムツレ教室とは

環境先進国スウェーデンで1956年に生まれた自然教育プログラムで、国民の4人に1人が幼児の頃にムツレ教室を体験しています。日本でも1992年から多くの幼稚園や保育園に取り入れられ、ESD（持続可能な社会づくりの担い手育成）推進に有効なプログラムとして評価されています。ムツレ教室では五感で自然とふれあい、森の妖精ムツレと仲良くなりながら、エコロジー（生物界の共生）を知り、自然への気づきを学びます。あなたもリーダーとなり未来を担う子どもたちに、自然とふれあう楽しさや自然の大切さを伝えていきませんか？

【日時】①5月28日（土）9:00～17:30と29日（日）9:00～16:40

森のムツレ教室（5・6歳対象）リーダー養成講座2日間（30,000円）

【講師】高見豊（社）日本野外生活推進協会会長 佐伯美保（社）日本野外生活推進協会講師

【場所】しらぎく幼稚園（福津市福間駅東3-4-1）

【対象】幼児教育・環境教育・子育て支援に関心のある方・保育士・教諭・子育て中の方・学生

*①の修了生は②が受講できます。希望者は併せてお申し込みください。

【日時】②6月25日（土）9:30～16:00 森のクニユータナ教室（3,4歳）リーダー養成講座（15,000円）

【講師】佐伯 美保（社）日本野外生活推進協会講師

【場所】しらぎく幼稚園

【主催】（社）日本野外生活推進協会 【共催】環境ネットワーク「虹」

【協力】NPO法人ふくつ子どもステーションすてっぷ

【問合せ】090・5080・3581（佐伯）knet_niji@yahoo.co.jp

【申込み】以下のQRコードから申込ください



環境ネットワーク虹 HP



*応募により知り得た個人情報は、本講座に関連した事務にのみ使用させていただき、使用後も厳重に管理いたします。

森のムッレ教室 5～6 才

ムッレ教室の目的は、まず、子どもたちに「自然に出かけるのは楽しい」ということを知らせ、自然感覚を育むことです。子どもたちは五感を使って様々な生き物とふれあい、体でエコロジ（生物界の共生学）を知ります。そして一緒に生きている他の生物や依存している環境への気こかいを学ぶことができます。

「ムッレ教室」の最大の特徴は、これらの目的を達成するために、「森のムッレ」という架空の妖精が登場することです。「ムッレ」は、子どもたちと自然との橋渡しの存在で、植物や動物の言葉を伝え、自然の法則を人間が変えてはいけなことを教えてくれます。「ムッレ」の語源は、スウェーデン語の“Mullen” ムッレン（土壌）です。土は地球上のすべての生物の命の根源であり、人間もまた土とつながっているのだということを伝えたい、という願いが「ムッレ」の名前には込められています。

*自然感覚は、自然すべての物に気付くことができ注意を払う段階から、「私も動物であり、自然の中のエコロジの一部なのだ」と理解できる段階まで幅がありますが、その理解ができて初めて自然に参加でき、自然が自分の家だと思えるのです。だれもが自分の家は大切にします。近所に住んでいるものへの責任も感じるので。森のムッレ教室では、子どもの発達に応じて自然感覚を育みます。



森のクニュータナ教室 3～4 才

クニュータナ教室は、3・4 才の幼児のための教室です。子どもたちは、遊んだり歌ったりして身近な自然で様々な発見し、自然の中で楽しく快適に過ごす事を学びます。そして、親や他の大人やリーダーと一緒に生き物のことを学び、木の切り株やまつぼっくりや、アリやミミズとすっかり友だちになります。体験を通して子どもたちは自然に対する豊かな概念と自然感覚を身につけ、のびのびと遊び、仲間意識を持つようになります。テントウムシの「ニック」が登場します。



森のクノッペン教室 1～2 才

クノッペン (Knoppen) とは「小さい芽」という意味です。1、2才の子どもたちがリーダーと共に自然に出かけて冒険します。五感で自然とふれあい、虫や草花など様々な発見します。リーダーはクノッペンの子どもたちが見たり、感じたりしたことに共感し、言葉で表現してあげます。子どもたちは体験を通して自然と仲良くなり自然の中で楽しく快適に過ごすことを学びます。



森のストローバレ教室 小学校低学年

ストローバレ教室は、ムッレ教室の次段階として、小学校の低学年を対象にした教室です。ムッレ教室で自然感覚を身につけた子どもたちは、さらに自然と深く関わっていき、人間が自然の一部であることを理解し、小さな生き物や草花に気を配ることを学んでいきます。



森のフリールフサレ教室 小学校高学年

フリールフサレ教室は、小学校の高学年を対象にした教室です。ストローバレ教室で人と自然のかかわりを学んだ子どもたちは、次の段階として、人が自然に与える影響を知り、自然を守るために何が必要かを考えていきます。そして、自然保護に対して自分の考えを持ち、何ができるかを話し合います。



森のオーブンプレスクール 0, 1 歳（赤ちゃんの野外活動）

子育て支援活動の野外版で、親が子どもと一緒に自然体験をして他の子どもや親と居心地良く時間を過ごせることが目的です。育児中の親に新しい友達やネットワークができます。親の役割は、自の中で子どもと一緒に発見し、子どもがゆっくり周囲を探求し、子どもが自ら発見できることです。そのように親どうし育ちあうサポートを得られます。



参照：日本野外生活推進協会 HP
<http://mulle.sakura.ne.jp/>
『幼児のための環境教育』
～ スウェーデンからの贈り物
「森のムッレ教室」～
岡部翠編 新評論 2007 年



参照：『スウェーデンの森のムッレ対象年齢別事例集～子どもたちを自然の中へ～』
環境ネットワーク「虹」
佐伯美保編集・高見幸子著・翻訳
2014 年